

2008年度自己点検・評価報告書の公表にあたって

学 長 山 本 英 夫

このたび『2008年度自己点検・評価報告書』を公表する運びとなりました。本学は昨年度認証評価を受け、その過程で本学の取り組みに対する評価と、一方で助言や改善事項の指摘がありました。今年度はそれらに対する改善に向けての1年目として、自己点検・評価に取り組んできました。公表にあたり、今年度の経過等について一言述べておきます。

大学院各研究科は2008年4月よりカリキュラム改訂と教育制度の改革を実施しました。

さらに各学部と共通科目運営センターにおいては、2009年度からの大幅なカリキュラム改訂と諸制度の改革を行うことになっています（2007年度に学部改組を行った文学部は除く）。こうした経緯の中で、本年度の自己点検・評価は、それらの改革を実施するにあたっての理念や目的、具体的な制度の変更点について、ここで改めて点検・評価を行うことで、学内においては改革の基本理念等を確認し、それを広く学外に公表することに主眼を置いています。

また、2011（平成23）年度には、2007年度認証評価の際に付された助言に対する「改善報告書」を、大学基準協会に提出する予定です。取り組み内容の性質上、今回の公表対象としていませんが、認証評価時の助言等に対する改善進捗状況の把握、諸課題への対応も鋭意進めて参りました。

最後になりますが、日頃からの本学へのご支援に感謝申し上げますとともに、公表によりこの自己点検・評価活動が本学の改善・改革にとって大きな糧となるよう、とくに今回は新しいカリキュラムの更なる向上となるよう、本報告書に対し、皆様からの貴重な御意見・御指摘を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2009年3月